

# ぼくらの恐怖バーン

宗田 理

ホフラ社

主人公の高校1年の菊地英治と親友の相原徹は、  
中学時代の友人、日比野に、塚本というクラスメイトの  
赤城にある家に行かないか？とさそわれ、

「ぼくらのメンバーで泊まりに行くことになった。  
仲間との遠出に喜ぶ英治達。

しかし、英治達の所に「赤城の家に行くな」と  
脅しの電話がかかってくる。塚本の怖がりさが  
普通ではないことに気付き、塚本は何か「ぼくら」に  
話していないことが...と思う英治達。

それでも行くこと決めてとうとう赤城の家に来た「ぼくら」は、  
遠出を楽しんでいた「ぼくら」だったが、塚本がいつの間にか  
いなくなっていた！塚本の消失は家の中の  
“絶対に開けてはいけない部屋”に関係しているようだが...  
そして、塚本を探す英治達にも危機が...!?

一本  
どうなる!!  
「ぼくら」!!